令和６年１０月１１日

保護者各位

鳥栖市立弥生が丘小学校

校　長　　田 﨑　幸 子

令和６年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

　令和６年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

　なお、以下に示す内容は学力の特定の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いします。

１　令和６年度全国学力・学習状況調査について

　令和６年４月１８日、下記のような内容で全国一斉に小学校６年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

|  |
| --- |
| (1) 教科に関する調査（国語、算数） |
| 1. 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
2. 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、①と②が一体的に問われています。 |
| (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査 |
| 　学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。 |

２　教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1)国語について

・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を大きく上回っていました。

・「書くこと」「読むこと」については、全国の平均正答率を大きく上回っていました。

・「話すこと・聞くこと」については、全国の平均正答率をわずかに下回っていました。目的や意図に応じて、伝え合う内容を検討することに課題が見られます。

(2)算数について

・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を大きく上回っていました。

・「変化と関係」「データの活用」の領域においては、全国の平均正答率を上回り、「数と計算」については全国の平均正答率を大きく上回っていました。

・「図形」の領域においては、全国の平均正答率を上回っていましたが、図形を構成する要素に着目して体積の求め方を考えることについては、まだ伸びが期待できます。

３　生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 調査項目 | 本校の割合(％) | 全国の割合(％) |
| 朝食を毎日食べている。 | ８５．８％ | ８３．４％ |
| 毎日、だいたい同じくらいの時刻に寝ている。 | ７６．１％ | ８２．９％ |
| 毎日、だいたい同じくらいの時刻に起きている。 | ８８．５％ | ９１．６％ |
| 月～金曜日に、1時間以上勉強している。 | ５４．８％ | ５４．６％ |
| 人が困っているときは、進んで助けていますか。 | ９４．７％ | ９２．７％ |
| 自分には、よいところがあると思いますか。 | ８６．７％ | ８９．１％ |
| 将来の夢や目標をもっていますか。 | ８１．４％ | ８２．４％ |

・朝食については、「朝食を毎日食べている」と回答した児童の割合は８５．８％と高く、家庭の協力により朝食摂取の習慣化ができていると思われます。しかし、就寝・起床については、全国の割合を下回っています。規則正しい生活や睡眠の大切さについての指導とともに、家庭での生活習慣について再度見直す必要があると考えます。

・平日に1時間以上勉強している児童は、５４．８％と全国の割合と同程度となっていま

す。しかし、本校では、学習時間が1時間に満たない児童の中には、０～３０分の児童が

約２０％いました。家庭学習が習慣化し、より充実したものになるよう宿題の内容を工夫

するとともに、自主的な学習を奨励し、家庭と連携して引き続き指導に取り組んでいきま

す。

・「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童は、全国の割合を上回って

います。一方、「自分には、よいところがある」「将来の夢がある」と回答した児童は全

国の割合をわずかに下回っています。家庭、学校、地域が連携して児童のよさを認め、成

長を温かく見守り、自分らしさを発揮できるように支えていく必要があります。

４　今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

　・全職員で本校の傾向や課題を共有し、本校のよさを伸ばし、課題を解決する具体的な取

組について考え、それを実践していきます。

・授業では、児童同士が話したり聞いたりする対話活動を積極的に取り入れます。一人一人

がめあてをもって取り組み、粘り強く考え、自分の考えを伝え合う対話活動等を通して、

児童が自分の力を伸ばしていける授業の在り方を工夫し、改善していきます。

・家庭学習の充実に向けて、宿題の内容や量の見直しを行います。音読や漢字、四則計算

などの基礎基本の定着を図るとともに、児童が自主的に取り組むことができ、力がつく

「自主学習（自学）」の例を提示していきます。

・家庭でも次のようなことに心がけてください。

１　生活のリズムを整えてください。

◎就寝・起床の時刻を見直して十分な睡眠時間を確保するなど、生活のリズムを整えましょう。

◎TVやゲーム、スマートフォン・タブレット等の使用は時間を決め、長時間にならないようにしましょう。

◎学習する時間や時間帯を決め、毎日取り組ませることで学習習慣を身に付けさせましょう。

２　お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

◎お子さんの声に耳を傾け、親子でたくさん語り合いましょう。

◎お子さんが頑張ったことやよくできたことを積極的にほめましょう。